

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水產業費 項：畜產業費 目：家畜保健衛生費

事業名 豚熱等対策事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 家畜防疫対策課 防疫推進係 電話番号：058-272-1111(内4156)

E-mail : c11449@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 38,920 千円 (前年度予算額： 45,578 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	45,578	12,494	0	0	0	0	0	0	33,084
要求額	38,920	12,368	0	0	0	0	0	0	26,552
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- 平成30年9月以降県内で発生した豚熱については、現在は小康状態であるが、野生いのししによる豚への感染が危惧されるため、国の通知に基づき、アフリカ豚熱も含めた死亡いのししの感染確認検査を行っている。
- このほか、防疫対応に関する事業、防疫資材の保管などを継続してしていく必要がある。

(2) 事業内容

- 中央家畜保健衛生所(病性鑑定分室)の運営
野生いのししの豚熱及びアフリカ豚熱の感染確認検査を実施
- 死亡いのししの運搬・消毒
検査施設までの死亡いのししの運搬・消毒等を外部委託
- 公用携帯電話利用料、防疫資材保管料(防疫対応用)
- 防疫対応
農林事務所防疫関連業務等経費
- フォークリフトオペレーターの養成等
家畜伝染病防疫措置において業務に従事する職員等がフォークリフト運転技能講習を受講等

(3) 県負担・補助率の考え方

国：10/10（検査薬品費）、国・県1/2（衛生・検査資材費、いのしし運搬）
県：10/10（その他）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	399	職員旅費、民間獣医師費用弁償
需用費	22,015	検査薬品費、衛生・検査資材費、燃料費、光熱水費、修繕料等
役務費	5,311	検査機器校正、公用携帯電話利用料 等
業務委託料	9,253	死亡いのしし運搬委託、検査施設法定点検委託 等
使用料	1,042	防疫資材保管料 等
負担金	900	フォーキリフト講習受講料 等
合計	38,920	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2023～2027）
 - 2 健やかで安らかな地域づくり
 - (2) 安らかに暮らせる地域
 - ⑥災害と危機事案に強い岐阜県づくり
- ・「ぎふ農業活性化基本計画」（R8～12）（仮称・令和8年3月策定予定）
 - 基本方針4 安心できる農畜水産業と農村の環境整備
 - 4 生産を脅かすリスクへの対応
 - ①家畜伝染病に対応できる畜産産地づくり

事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

国の通知に基づき、野生いのししにおける豚熱及びアフリカ豚熱のサーベイランスを実施する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

野生いのししの豚熱・アフリカ豚熱検査については、国の通知により行っているものであるため、指標設定にはなじまない。

(これまでの取組内容と成果)

令 和 4 年 度	・取組内容と成果を記載してください。 死亡及び捕獲いのししについて、豚熱ウイルスのPCR及びELISA検査を実施。また、死亡いのししの全頭及び捕獲いのししの一部について、アフリカ豚熱ウイルスのPCR検査を実施。
	指標① 目標 : ____ 実績 : ____ 達成率 : ____ %
令 和 5 年 度	・取組内容と成果を記載してください。 死亡及び捕獲いのししについて、豚熱ウイルスのPCR及びELISA検査を実施。また、死亡いのししの全頭及び捕獲いのししの一部について、アフリカ豚熱ウイルスのPCR検査を実施。
	指標① 目標 : ____ 実績 : ____ 達成率 : ____ %
令 和 6 年 度	・取組内容と成果を記載してください。 死亡及び捕獲いのししについて、豚熱ウイルスのPCR及びELISA検査を実施。また、死亡いのししの全頭及び捕獲いのししの一部について、アフリカ豚熱ウイルスのPCR検査を実施。
	指標① 目標 : ____ 実績 : ____ 達成率 : ____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	野生いのししの豚熱・アフリカ豚熱感染状況を把握することにより、まん延リスクを軽減する。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	野生いのししの豚熱・アフリカ豚熱感染状況をほぼ毎日把握し、週に一度感染状況を公表している。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	野生いのししの梱包、消毒及び検査場所までの運搬を業者に委託することとしており、効率化が図られている。 また、リアルタイムPCRを導入し、検査の効率化が図られている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

継続的な事業を実施するために、検査施設の維持管理、さらに効率的な検査体制の整備が必要。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
農場における豚熱・アフリカ豚熱の発生予防、発生時における早期対応が必要であることから継続して取り組む必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	